



宇津木台 森遊会 実施報告

「第9回定例活動」「第4回市民講座」

No.2012-09

実施日	2012年12月23日(日) 10:00~16:00	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：13名(男性11(うち子供1)、女性2(うち子供1)) 小貝、田原、松山、富田(さ)、富田(悠)、神宮、平家、田中、諸岡、北澤、 中田(直)、中田(美)、原田 インストラクター：中元氏(神奈川県森林インストラクター)、金森		

実施内容

活動2年目の第九回目。市民企画事業「宇津木の森再生プロジェクト2012」の第四回目を兼ねる。朝は肌寒いが昼食時は気温も上がり、午後のミニ門松作りは日向で行ったので寒さは感じなかった。オリンパス技術開発センター宇津木に10時集合。竹の専門家、中元インストラクターを紹介する。コンサートエリアにて伐った大木を全員でベンチにする位置まで移動させる。カスガイで固定した。コンサートエリアは7名で階段作りと枝の片付け、側溝を埋める作業を行う。前回活動時に一端に階段を作っているものでこれでステージの両端に階段が設置できた。コンサートができる状態になった。

残りの参加者は竹林に移動して昨年度整備したエリアの枯草を片付ける。風で倒れたと思われる竹3本を伐採する。未整備のエリアにも取り掛かる。伐採により北側の畑に日光が入り使えるようになったので、近所の農家の方からお礼に泥ねぎをいただいた。昼食時にそのままき火で焼いていただいた。

参加者が持ち寄った具材でトン汁を作る。煮え立つまでの間に小貝さんから水餃子とコーヒーのサプライズ。ココナッツが入ったタレは水餃子と絶妙に合っていた。トン汁は大量と思われたが完食した。

社庭の芝生にて中元インストラクター指導のもとミニ門松を作る。材料は全て用意してあった。特に宇津木台緑地には無いマダケや職人しか作れない“こも”を準備していただきさすがにエキスパート。初めての人、2回目の人、各々個性的な門松を前に記念撮影。備品置き場の整理を行い16時に解散。



大木を運んでのベンチの完成



2つ目の階段を設置する



竹林と格闘中



この日いただいたねぎを焼く



水餃子と絶妙のタレ



トン汁の完成～完食



続々と完成



個性あるミニ門松を前に記念撮影

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットはなし。

- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、小1個を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・次回は、1月27日、水辺の整備を予定する。